

平成26年行政事業レビューシート

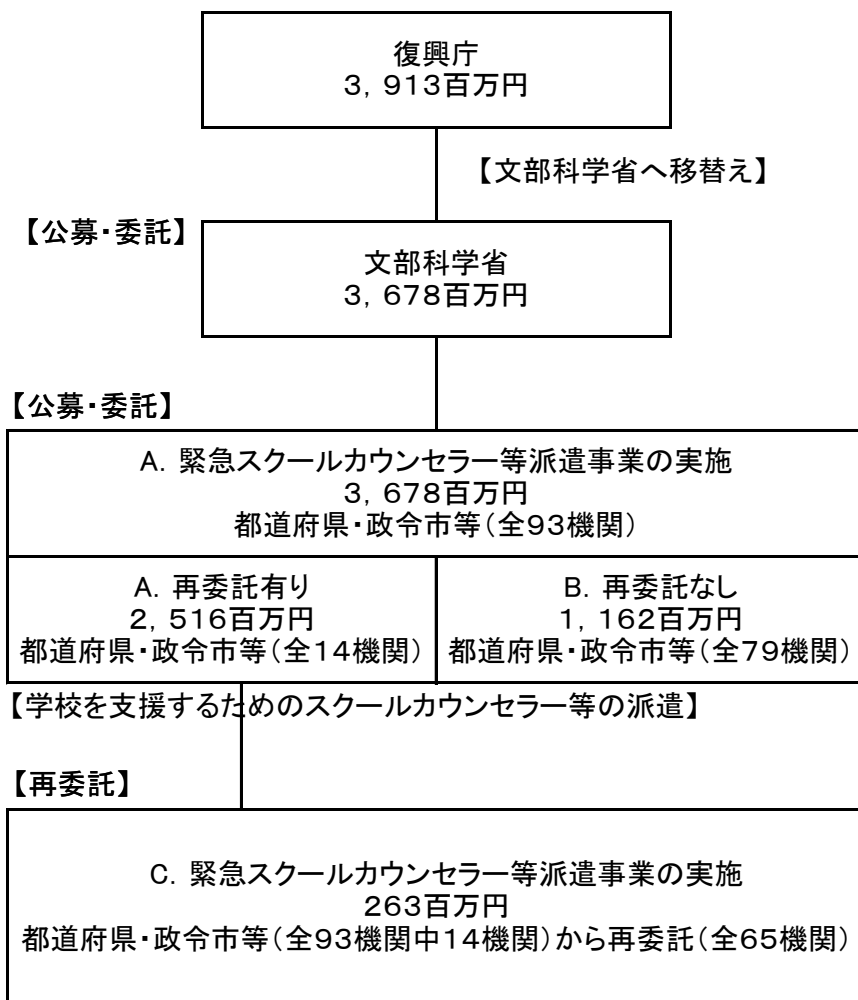
(復興庁)

事業名	緊急スクールカウンセラー等派遣事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成32年度(予定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被災した児童生徒等の心のケアの充実を図るため、被災地等へスクールカウンセラー等を緊急的に派遣し、もって被災した児童生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育相談体制を整備するものである。 加えて、被災地等での新たな課題に対応するため、高校生への進路指導・就職支援を行う緊急進路指導員、特別支援学校における外部専門家、生徒指導アドバイザーの活用を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の者を被災地等へ派遣し、被災した幼児児童生徒等の心のケアの充実を図る。 ・スクールカウンセラー ・スクールカウンセラーに準ずる者 ・緊急進路指導員 ・作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・言語聴覚士(ST)・児童精神科医等の外部専門家 ・生徒指導アドバイザー								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	4,702	3,913	3,709	3,709		
		補正予算	3,366	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		3,366	4,702	3,913	3,709	3,709		
	執行額		1,600	2,941	3,678	-			
執行率(%)		47.5%	62.5%	94.0%	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)	
	東日本大震災で被災した自治体等からのスクールカウンセラーの派遣に関する要望に対する対応率			成果実績	%	100	100	100	-
				目標値	%	100	100	100	100
				達成度	%	100	100	100	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	被災幼児児童生徒等を受入れ、心のケアの対応が必要とされる自治体等への委託件数			活動実績	件	74	91	93	-
				当初見込み	件	78	80	95	83
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	決算額÷実施主体数			単位当たりコスト		21,622千円	32,319千円	39,548千円	44,687千円
				計算式	/	1,600百万円/74都道府県・市町村等(実績)	2,941百万円/91都道府県・市町村等(実績)	3,678百万円/93都道府県・市町村等(実績)	3,709百万円/83都道府県・市町村等
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	緊急スクールカウンセラー等派遣事業委託費		3,709百万円	3,709百万円					
	計		3,709百万円	3,709百万円					

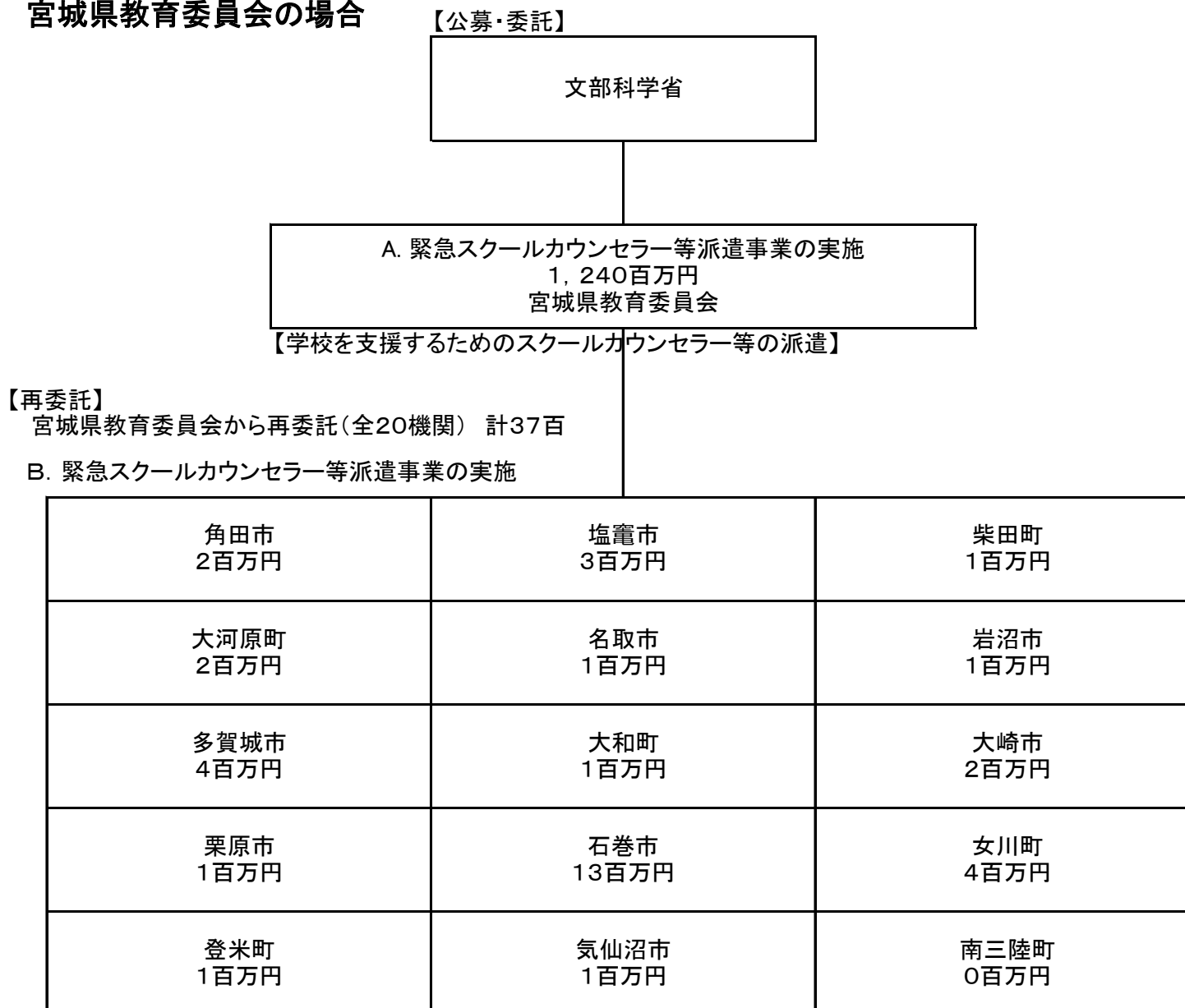
事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被災した幼児児童生徒等に対する長期的視点に立った心のケアの重要性については、各方面より強く要望を受けているところ。復旧・復興支援事業は、国が率先して実施すべきものであり、極めて優先度の高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は募集から契約まで、企画競争にて適切な事務処理を行っている。また、被災地等の要望を踏まえ、負担軽減を図る観点から全額国庫負担としているほか、委託対象を拡げるなど被災地の幅広いニーズに応えられる仕組みとし、1件当たりコストの削減にも努めている。本事業の経費は、スクールカウンセラー等の配置等にかかる経費や研修会実施に必要な会場代や資料代等であり、真に必要なものに限定されている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	喫緊の課題であることから、国の直轄事業(委託契約)として実施する本事業の手法は、全国的に実績をあげるにはもっとも適した効果的な手法である。加えて、自治体等からのスクールカウンセラーの派遣に関する要望にはすべて対応しており、事業の実施においては、各自治体等において迅速かつ実効的な対応が可能である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	類似事業として「スクールカウンセラー等活用事業(補助事業)」があるが、当該スクールカウンセラーの緊急派遣事業は東日本大震災により被災した幼児児童生徒等の心のケアや必要な支援を行うための経費である一方で、補助事業は学校における教育相談体制の充実を図るため等の経費であるため、既存補助事業とは明確に区分されている。			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
		いじめ対策総合推進事業(スクールカウンセラー等活用事業)				初等中等教育局児童生徒課
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	東日本大震災により被災した幼児児童生徒等の心のケアや、教職員・保護者等への助言・援助、学校教育活動の復旧支援、福祉関係機関との連携調整等、様々な課題に対応する本事業は、他の事業に比べても最優先で実施すべき事業である。				
	改善の方向性	限られた予算内で、選りすぐった事業となるよう、平成24年度より、第三者委員会による審査を実施するなど、改善を図っているところ。また、執行に関しては、早期執行に努めるとともに、平成25年度途中においても被災者への支援に柔軟に対応することができるよう、事業の随時募集を行った。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	被災した児童・生徒等の心のケアの充実や、教育相談体制の整備などは、未だ被災地・被災者からのニーズや復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	事業の目的である被災した児童生徒等の心のケアの充実を図り、安心して学校生活を送ることができる環境を確保するため、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。					
備考						
・文部科学省における同事業の平成23年度補正予算額 3,366百万円						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	26	平成25年	029	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

全体



宮城県教育委員会の場合



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県①	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	1,240	企画競争	—
2	福島県①	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	616	企画競争	—
3	岩手県①	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	350	企画競争	—
4	宮城県④	緊急スクールカウンセラー等の派遣④	151	企画競争	—
5	福島県知事部局①	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	29	企画競争	—
6	一般社団法人社会応援ネットワーク	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	22	企画競争	—
7	有限会社アートリンクス	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	19	企画競争	—
8	宮城県知事部局②	緊急スクールカウンセラー等の派遣②	19	企画競争	—
9	岩手県知事部局①	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	19	企画競争	—
10	福島県知事部局②	緊急スクールカウンセラー等の派遣②	15	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山形県	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	176	企画競争	—
2	特定非営利活動法人NPOカタリバ	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	97	企画競争	—
3	国立大学法人浜松医科大学	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	91	企画競争	—
4	株式会社JMC	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	64	企画競争	—
5	茨城県	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	58	企画競争	—
6	学校法人国際学園	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	53	企画競争	—
7	株式会社セーフティネット	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	51	企画競争	—
8	岩手県②	緊急スクールカウンセラー等の派遣②	49	企画競争	—
9	一般社団法人子どものエンパワメントいわて	緊急スクールカウンセラー等の派遣①	46	企画競争	—
10	公益財団法人夢現エデュテイメント	緊急スクールカウンセラー等の派遣④	35	企画競争	—